

(一社) 農業食料工学会シンポジウム「第 26 回テクノフェスタ」

「農業データ連携の実現による農業・食料の未来」

農業機械に係る技術者、研究者の技術力の向上ならびに交流と親睦のために平成 8 年から始まった「テクノフェスタ」も 26 回目を迎えました。コロナ禍の状況を鑑み、本年度のテクノフェスタは、昨年度に引き続き、オンラインでの開催と致します。

今回は、オープンサイエンスが実現する未来の社会に関する話題提供や、データを活用した農業を実践している米国からの登壇者も迎えて、一部日英同時通訳を入れて開催します。未来の農業・食料について、海外からの参加者も募って多くの皆様と情報共有を図ります。

記

1. 開催日時：2021 年 12 月 10 日（金）9：45～18：00
2. 開催方式：ZOOM によるオンライン開催
3. 主催：（一社）農業食料工学会
4. 協賛：（国研）農研機構 農業機械研究部門
5. テーマ：農業データ連携の実現による農業・食料の未来
6. プログラム（仮）：
 - I. 開会挨拶（9：45～10：00）
 - II. 開発賞受賞講演（10：00～12：00）
 - (1) 開発賞特別賞
Hセキ乗用田植機 さなえ PRJ、PR の開発：井関農機株式会社 山下 英希
 - (2) 開発賞
「可変施肥対応 GPS ガイダンス」と「簡易式可変施肥マップ」の概要
：株式会社 I H I アグリテック 森 素広
自動運転農機による大規模水稲作一貫体系の完成：株式会社クボタ 吉田 脩
光選別機「SAXES Knight(サクセスナイト)」について：株式会社サタケ 森山 敬仁
散布幅自動調整機能スライドコントロールを有したブームスプレーヤ：株式会社やまびこ 湯木 正一
 - III. 基調講演（13：00～14：00、日英同時通訳あり）
オープンサイエンスから見た農業データ連携と地域との調和（仮）
：（国研）情報通信研究機構 村山 泰啓
 - IV. 分科会（14：00～17：15）
[第一部] 14：00～15：30
1－1. API 特別分科会（日英同時通訳あり）
 - (1) 米国におけるデータを活用した農業の実際（その運用やデータ管理の仕組み）（仮）
：Agricultural Data Coalition（米国） Ben Craker
 - (2) AgGateway Asia から見た日本におけるデータを活用した農業の実際（仮）
：（株）農業情報設計社 濱田 安之
 - (3) パネルディスカッション
：（国研）情報通信研究機構 村山 泰啓
：Agricultural Data Coalition（米国） Ben Craker

: (株)農業情報設計社 濱田 安之
(モデレータ) (株)農林中金総研 小田 志保

1-2. 自動運転分科会

「GNSSのみによらない自動運転技術」

- (1) つくばチャレンジにおけるGNSSに頼らないロボットの自律走行: 千葉大学 大川 一也
- (2) Autowareの活用事例: 株式会社ティアフォー 石川 寛朗

1-3. 生物資源分科会

「スマート技術を活用したバイオガスプラントの高度利用」

- (1) 脱炭素社会に向けた農村地域エネルギーマネジメントシステム (VEMS) の動向と展望
: (国研) 農研機構 石井 雅久
- (2) ヒートポンプとバイオガス熱電併給システムを組み合わせたPower to Heat (P2H) 技術の取組み
: 北海道大学大学院工学研究院 石川 志保

1-4. 国際交流分科会

「アジアにおける持続的な農業・食料供給システム」

- (1) コーディネータ討論: Tsukuba University Tofael Ahamed
- (2) データ駆動型インドネシア農業システムを強化するための"選択的"機械化技術の概要
: Universitas Gadjah Mada Lilik Sutiarso
- (3) タイ国内におけるポストハーベスト技術の現状
: King Mongkut's University of Technology Thonburi Varit Srilaong

[第二部] 15:45~17:15

2-1. API 特別分科会 (日英同時通訳あり)

※ 1-1. API 特別分科会と同じ講演者

2-2. 情報連携システム分科会

「WAGRIへの取り組み状況および課題」

- (1) 三菱マヒンドラ農機 MIT サービスの情報連携機能について
: 三菱マヒンドラ農機株式会社 岸保 健生
- (2) 農業領域におけるデータ連携の現状と課題について
: NECソリューションイノベータ株式会社 榎 淳哉
- (3) 農業データ連携の現状: (株)サタケ 池田 信義

2-3. フードチェーン分科会

「食品・農産物の非破壊計測と新たな試み」

- (1) 空間的スペクトル分解法を用いた食品成分分析: 筑波大学 粉川 美踏
- (2) 分子間振動モードを活用した農産物内のデンプン計測: 神戸大学 中島 周作
- (3) 短波長赤外 (SWIR) 画像と深層学習によるバレイショの外部欠陥種別の分類
: 京都大学 斎藤 嘉人

2-4. 農業機械分科会

「スマート農業時代の生産性向上を担う農業機械」

- (1) 樹脂製テープを用いたトマト用接ぎ木装置の開発: (国研) 農研機構 中山 夏希
- (2) 直進アシストシステム搭載小型トラクタ RTS の開発: 井関農機株式会社 武井 祐
- (3) 自動運転田植機を活用した生産性向上の実証: 茨城県農業総合センター 古渡 拳人

V. 閉会挨拶 (17:15~17:30)

VI. エクステンションディスカッションタイム (17:30~18:00)

分科会の質疑応答の延長

7. 参加登録

11月9日（火）～12月3日（金）に専用ホームページより申し込みをお願いします。

http://koyovideo.xsrv.jp/26th_Techno_Festa_Participation_JP/

最大参加者数 500名（先着順）

8. 参加費

一般会員（体験入会者含む）：1,000円 一般非会員：2,000円 海外参加者・学生：無料
但し、基調講演及び API 特別分科会のみ参加の方は参加費が無料です。

9. 体験入会の問い合わせ先

一般社団法人 農業食料工学会 事務局

Tel：048-652-4119

E-Mail：office@j-sam.org

10. その他

本シンポジウムの一部は、農機 API 共通化コンソーシアムの予算にて運営されています。